

年頭所感

五霞町長

染谷 森雄

新年あけまして、おめでとうございます。

皆様方には輝かしい新春をお迎への事とお慶び申し上げます。昨年中は町政全般にわたり格別のご支援、ご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

2期目も就任以来3度目の新年を迎えました。まちづくりの指針である「第5次五霞町総合計画」を着実に進めてまいりましたが、中でも重点プロジェクトとして位置づけた8つの事業が、昨年からの実施時期に入り大きく進捗しています。

その一つであるコミュニティ交通の実証運行を昨年10月から開始しました。10月は542人、11月は450人という利用状況です。ぜひ多くの皆様にご利用いただきたいと思えます。

また、新4号国道の複線化そして圏央道も、26年度末の供用開始をめざして工事が急ピッチで進んでいます。さらに圏央道インター周辺開発地域では、町の新たな産業拠点として整備が今年度から本格的にスタートします。地権者の皆様のご協力のもと、町の活力を高める企業立地を強力に進めていきたいと思えます。

さて、政権交代から一年が経過しました。強い経済を取り戻

すという使命のもと、内閣が進めてきたアベノミクスといわれる「三本の矢」からなる経済政策によって、景気は回復の兆しを見せており、2020年東京五輪の開催決定とも相まって、この国の先行きにもほのかな希望が見えてきた感もいたします。一方、大地震や原発事故による復興は遅れています。一日も早く被災地、被災者の暮らしの安心を取り戻せるよう、思い切った予算を投じ復興を加速させてほしいと願っています。

また、近年自然災害が多発しています。台風は大型化し、ゲリラ豪雨・竜巻等はいつ発生するか予測し難い状況にあります。町では、防災、危機管理体制

制の充実強化に努めておりますが、まずは自らの命は自ら守ることが大切です。日頃から災害に対する「心の備え」をお願いいたします。

現在、国、県、市町村ともに多くの課題が山積しています。が、何かに挑戦して失敗するリスクより何もしないリスクの方を恐れなければなりません。今年も山積する課題に正面から取り組み、町の着実な発展を目指してまいります。

年の始めに、町民の皆様のご理解ご協力を切に願いますとともに、皆様のご健康ご多幸をお祈りして新年のご挨拶いたします。

新春を迎えて

五霞町議会議長

青木 武明

あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、2014年の新春を健やかに迎えることとお慶び申し上げます。また、日頃から町政に対する温かいご理解、ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げますとともに、町議会を代表しまして新年のご挨拶を申し上げます。

未だ私達の記憶に生々しく残っております東日本震災の復興も発生から早3年の歳月が経過しようとしておりますが、復興には程遠い現状を新たに認識しなければなりません。一日

も早い完全復興を皆様と共に祈り申し上げます。

そして、2014年が一年を通して自然災害や事件・事故のない平穏な年でありますことを心からお祈りするものです。

さて、昨年の参議院議員選挙によりまして自・公政権が勝利し、衆・参のねじれが解消され、決められない政治から決められる政治へと大きく変わっていくことを国民のひとりとして期待しております。

そうした中であつて、今年4月1日から消費税率が5%から8%へと変わります。これにより、国の経済がどう変わっていくのか大きな関心事でもあります。

地方においては、少子高齢化が益々高まってきており、若い人達が町に住みたい、住んでみたいと言えるまちづくりが、町執行部、議会に課せられた急務であると思えます。

昨年11月に中学生議会を開催し、12名の中学生議員の中から6名の方が質問に立ちました。いずれも町の将来を考えた立派な質問でありました。今後はもつと若者の意見を聞く機会があれば良いと考えております。

今、当町においては圏央道、堤防強化事業、そして新4号国道の複線化工事と国の公共事業が着々と進展しております。また、圏央道インター周辺開発地域も都市計画決定され、いよ

いよ大きく前進をしております。

町議会といたしましても、住民の皆様様の安心・安全についてしっかりと取り組み、高齢者や子ども達が安心して暮らせるまちづくりに邁進し、町政発展のため議会活動を充実させてまいります。

どうか本年も町議会に対しまして、より一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして健康で明るい幸せな年でありますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。